

## 今号から、リニューアル！



市政に関する重要な情報を、タイムリーにお届けします。



今号から2・3面を新設し、市民の皆さんに、より身近な情報を掲載します。

掲載内容や方法は、随時見直します。皆さんのご意見をお寄せください。

【問】市役所広報広聴課 広報係 ☎046-260-5313 FAX 046-261-4592

## 大和市の先進施策 海外からも高い評価

欧米から、アジアから。注目されています。

数多くの海外メディアから取材を受けました。

■ BBC(英)、AFP・RFI(仏)、ARD(独)、CCTV・CGTN(中)

■ ウォール・ストリート・ジャーナル(米)、  
■ ストレイツ・タイムズ(シンガポール) など

研修講師として、招かれました。

■ 世界銀行東京開発ラーニングセンター

### 国際的にも高く評価される「健康都市 やまと」

近年、大和市の先進的な健康都市の取り組みが、国内外のメディアや行政などから注目を集めることが多くなっています。大和市は、平成20年9月に健康都市を目指す都市の国際組織である健康都市連合に加盟。それ以来、大和市が進めてきた健康都市の取り組みは国際的にも高く評価され、海外の都市からの視察を受け入れるまでに成長しました。



平成28年、第9回WHOヘルスプロモーション国際会議で大和市の取り組みを発表(右から3人目が大和市長)

平成28年、第7回健康都市連合国際大会で、大和市が総合表彰を受賞



# ご利用ください。大和市の補助・助成制度

今回は  
妊娠・出産  
関係

補助・助成制度に関する情報を、ジャンルごとにお届け。対象要件など、詳しくはお問い合わせください。

## タイミング法、人工授精などの一般不妊治療に 「一般不妊治療費助成」

治療開始から12か月経過までを1期として自己負担額の2分の1を助成（最長2期）。

助成額：上限5万円／回



## 体外受精、顕微授精などの特定不妊治療に 「特定不妊治療費助成」

県の助成額を控除した保険適用外の医療費の一部を助成。

助成額：上限5万円／回



## 2回以上繰り返す流産や死産などの治療に 「不育症治療費助成」

保険適用外の医療費を助成。

助成額：上限30万円／年度



## 第3子以降の出産に 「出産費用助成」

出産一時金を除いた出産費用の2分の1までの額を助成。

助成額：上限5万円



【問】保健福祉センターすくすく子育て課 母子保健係 ☎046-260-5609 FAX 046-264-0202

# 救急医療（内科・小児科）の適正利用にご協力ください

これからの季節は、寒くなるとともに、体調を崩して救急受診する人が多くなる季節でもあります。救急医療を含む地域医療は、利用者の皆さんの協力があってこそ、守ることができます。いざというときのため、日頃の心構えや正しい対応を知っておきましょう。

相談できる「かかりつけ医」を持ち、  
診療時間内（昼間）の受診を心掛けましょう

ふだんから自身の健康状態を把握してくれる「かかりつけ医」を持ち、できるだけ早めに、診療時間内（昼間）に受診しましょう。早めの受診は重症化を防ぐことにもつながります。また、救急医療機関にかかるため寒い夜間に外出すると、かえって症状を悪化させることもあります。翌日以降の昼間の受診も検討しましょう。

内科、小児科の救急医療受診は、  
まず地域医療センター（一次救急）へ

一般の医療機関の診療時間外に内科・小児科受診の必要があるとき、まずは地域医療センター休日夜間急患診療所を受診しましょう。

緊急性の高い救急患者（内科・小児科）は  
二次救急医療機関へ

休日や夜間などで入院治療が必要と思われるような緊急時には、二次救急医療機関を受診してください。

**内科** 市内の5病院による当番制 **小児科** 市立病院

※内科の当番病院は、市のホームページのほか、やまと24時間健康相談（上記参照）でも確認できます。

救急医療を受診すべきか迷ったら、  
電話相談やパンフレットを活用しましょう

いざというときに相談できる電話番号などを知っておきましょう。

■やまと24時間健康相談

☎0120(244)810(無料)

看護師などの専門職が電話で相談を受け付け。必要に応じて医療機関を案内します。

■子ども救急パンフレット

子どもの急な病気への対応方法などを紹介。保健福祉センターで配布しているほか、市のホームページからダウンロードもできます。

地域医療センター（一次救急）休日夜間急患診療所（内科・小児科）

診療日	受付時間
月～土曜日	午後7時50分～10時45分
日曜日、祝日、 12月30日～1月3日	午前8時50分～11時45分
	午後1時50分～4時45分
	午後7時50分～10時45分



市ホームページ

【問】保健福祉センター医療健診課 医療施策推進係 ☎046-260-5661 FAX 046-260-1156



## 市民相談窓口・電話など

組織名の記載がないものは市役所担当課。曜日の記載がないものは毎週月～金曜日。☎は予約制(当日予約はできません)。

新型コロナウイルス総合相談窓口	☎261-8009
市民一般相談	☎260-5104
※下記の専門相談の実施日時などはお問い合わせください。 法律相談☎、司法書士登記・法律相談☎、税務相談☎、行政書士相談☎、公証相談☎、成年後見専門相談☎、不動産相談☎、住宅相談☎、マンション管理相談☎、行政相談、中高層建築物紛争相談、法律専門家に引き継ぐ多重債務相談	
消費生活センター(消費生活相談)	☎260-5120
人権相談(差別、嫌がらせなど)	☎260-5175
やまとSOGI派遣相談(性的指向や性自認など)☎	☎260-5164
創業・経営なんでも相談会☎ (経営・新規分野への進出、創業など。原則毎月第1火曜日)	☎260-5135
ヤングキャリアカウンセリング(毎月第4火曜日) 仕事の困った何でも相談(奇数月第2土曜日)	☎260-5135
知的財産相談(原則毎月第4木曜日)	☎260-5135
中小企業下請け斡旋相談(毎月第3火曜日) ※大和商工会議所	☎263-9112
高齢福祉相談	☎260-5611
認知症灯台(認知症に関する相談)	☎260-5641
高齢者の職業相談 ※ハローワーク大和専門援助部門	部門コード:42 # ☎260-8609
こころの健康相談(保健師が対応)	☎260-5667

保健福祉センター障がい福祉課、市役所1階に 手話通訳者を配置(市役所は毎週月曜日)	☎260-5665 FAX264-0123
障がい者相談支援事業「なんでも・そうだん・やまと」	
障害者自立支援センター	毎週月～土曜日 ☎265-5198
サポートセンター花音	☎268-9914
相談支援センター松風園 ※就労相談は、障害者自立支援センターへ。	☎272-0040
子育て何でも相談・応援センター	☎260-5675
こどもの発達相談(未就学児対象)☎	☎260-5673
ひとり親家庭などの相談(メール相談もあり)	☎260-5608
育児相談	
各市立保育園	緑野☎274-4769、若葉☎261-3603 草柳☎264-1919、福田☎267-0995
大和市子育て支援センター	☎267-9995
シリウス3階屋内子ども広場	☎259-7592
中央林間東急スクエア3階大和市子育て支援施設	☎259-6094
公私連携型子育て支援施設「こどもの城」	☎260-1055
特別支援学級などの就学相談	☎273-8351
大和市民自殺防止相談電話	☎260-5674
配偶者などからの暴力に関する相談	☎260-5638
自立相談窓口(経済的な困りごとや就労支援の相談)	☎200-6177
こもりびと支援窓口(ひきこもりに関する相談)	☎260-5625
私の♡相談電話	☎260-5040
親と子の相談電話	☎261-7830
不登校相談電話	☎260-5034
いじめ110番フリーダイヤル(メール相談もあり)	☎0120-874-255



# 11月の健康都市大学 市民でつくる健康学部

講師は市民、受講生も市民

会場 シリウス4階健康テラス 申込 不要 (開始15分前まで会場で整理券を配布。希望者多数の場合は抽選)  
定員 各回35人 費用 無料

最新情報は

とき(各回50分)	講座名/市民講師名
1日(月)15:00~	キーワードは「共育」~広がる活動・交流の輪 /大和市民活動センター
2日(火)11:00~	自然治癒力を高めるきっかけに~肌つままで血流いきいき! /小宮山利恵子
4日(木)15:00~	街の法律家~行政書士の世界 /中村一夫
7日(日)11:00~	ロシア雑学~「赤いサラファン」は愛情あふれる母と娘の歌 /鐵尾安夫
8日(月)15:00~	大和市の石仏・神社・仏閣を訪ねて~日常に在る祈りの世界 /藤田和興
9日(火)11:00~	家庭科の魅力に迫る~服でステキなおしゃべりを!! /安部明美
10日(水)11:00~	大相撲を三倍楽しむ方法 /関喜代司
11日(木)15:00~	幸福・健康・成功を呼ぶ考え方 /田之上拓雄
14日(日)11:00~	エベレスト登頂報告とココロとカラダの健康法 /松下沙織
15日(月)15:00~	心わくわく、やってみよう!一人でもできる健康づくり /鴨下禎子
16日(火)15:00~	最期まで自分の足で歩ける身体づくり~姿勢改善編 /上山聡美
17日(水)11:00~	心地よい排泄に寄り添う子育て生活 /臼井睦

とき(各回50分)	講座名/市民講師名
18日(木)15:00~	初めて住民税を学ぶ人へ~個人住民税の仕組み /大和市市民税課
21日(日)11:00~	笑顔で築く人生100年時代の活力資産~大和スマイル化計画 /斉藤友子
22日(月)15:00~	より人生を充実させるための知恵とは? /寺田徹郎
23日(祝)11:00~	たのしい数字 おもしろ算数~「宝くじ」の当たる確率は... /望月則男
24日(水)11:00~	からだの痛みへの正しい向き合い方~あなたの痛みは脳が悪い? /江原弘文
25日(木)15:00~	意外と簡単だった動画の編集 /戸ヶ崎正次
28日(日)11:00~	サービスってなに?サービスドミナントロジックへの誘い /小川貴巨
29日(月)15:00~	脳とお顔のアンチエイジング /渡辺多美子
30日(火)11:00~	今さら聞けない大人のマナー講座~敬語とは? /尾崎妙子

受講すると、受講ポイント、ヤマトン健康ポイントを各1ポイントもらえます。

## 市民講師を 随時募集しています!



市ホームページ



## 県内自治体で 初めて制定

# 認知症1万人時代条例

認知症の人や家族等が尊厳を保ちながら、住み慣れた地域で希望を持って暮らしていける「共生」のまちを目指して、大和市認知症1万人時代条例を制定しました。

### 条例の主な内容

#### 基本理念

「認知症の人や家族等の意向を尊重すること」「認知症の人や家族等が尊厳を保ちながら地域で共生できるようにすること」など5つを基本理念として定めています。

#### 市民、事業者等の役割

市民には認知症に関する理解を深めるよう努めることなどを、事業者等には市の施策への協力や、従業員への教育、認知症の人などへの配慮などを役割として定めています。

#### 市が取り組む施策

「認知症に関する普及啓発及び学習機会の確保」「認知症の人及び家族等への相談支援」など全部で7項目を、市が取り組む認知症施策として掲げています。

### 新たな取り組み

#### 認知症の人の声を発信

地域で暮らす認知症の人が自らの言葉で語り、認知症があっても希望を持って暮らしている姿を、市が積極的に発信し、周囲の理解につなげる取り組みを実施します。

#### 生活支援「チームオレンジ」

大和市の認知症サポーターは、今年3月時点で1万7,549人。認知症サポーターなどが認知症の人や家族の生活面を支援する「チームオレンジ」を、地域ごとに整備していきます。



大和市認知症1万人時代条例は、今年9月に施行しました。条例の全文や、詳しい内容は市のホームページでごらんになれます。

## 宣言から条例制定までの主な取り組み

**平成28年** 「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言を実施

**29年** タブレットを活用した認知機能検査「脳とからだの健康チェック」を導入

はいかい高齢者位置確認サービスを開始(小型GPSと専用シューズを貸し出し)

全国の自治体で初めて「はいかい高齢者個人賠償責任保険」を導入

**30年** 「認知症予防コグニサイズ教室」を開始

**令和元年** 認知症の総合相談窓口「認知症灯台」を設置

**2年** 厚生労働省、経済産業省主導の認知症施策研究事業に協力

**3年** 県内自治体で初めて認知症に特化した条例「大和市認知症1万人時代条例」を制定

認知症に関するその他の取り組みは、市ホームページでごらんになれます。